

5 ざ瘡(ニキビ)用薬

病状の進展：皮脂の分泌増

→微小面皰(初期)

→毛穴に皮脂がたまる(白ニキビ)

→皮脂が変色(黒ニキビ)

→皮脂に細菌増殖(赤ニキビ)→

膿がたまり傷口が広がり跡が残る。
(気にして触らないこと：毛穴の詰まりを悪化させ炎症をひどくする)。

・アダパレン：表皮の増殖を防ぐ
(毛穴つまりを防ぐ)。

・皮膚乾燥を防ぐため、保湿軟膏
(1180頁)で皮膚をカバーし
(すり込まないこと)。

その上から、アダパレン軟膏を塗る。

尋常性ざ瘡治療ガイドライン2008

面皰： 1：アダパレン

丘疹、膿疱：

軽症： IIa：アダパレン
抗菌薬外用

中等症、重症： IIb, IIc：

アダパレン

抗菌薬外用

抗菌薬内用

最重症： II d： 抗菌薬内用
抗菌薬外用

欧米等で耐性菌を分離

→過酸化ベンゾイル製剤が
GLで推奨、標準治療。

・・・略・・・

過酸化ベンゾイル Benzoyl Peroxide

●ベピオ(マルホ)ゲル2.5%(15g)

[特]a.アクネ菌,表皮ブドウ球菌,

黄色ブドウ球菌に抗菌活性。

b.炎症性皮膚疹72%減。

[効]尋常性ざ瘡。

[用]1日1回,洗顔後,患部に適量塗布。

[体内動態]塗布後→安息香酸→馬尿酸
→尿中排泄。

[使用上の注意：デュアックと共通]

a.結節・囊腫に用いない。

b.12歳未満に未承認。

c.口腔,眼,口唇,粘膜,刺激,傷に使用禁。
付着時は水洗。

過度の塗布→皮膚刺激増。

皮膚剥脱,紅斑,刺激感,全身性過敏
反応,重度皮膚刺激→使用中止。

d.日光・紫外線を避ける。

e.外用剤と併用しない→皮膚刺激。

f.トレチノインと同一部位に塗布しない
→トレチノインが分解,効果減。

g.漂白作用がある→髪,衣料に付着禁。

[患]授乳中は用いない。

[副]43%]B.中止：接触性皮膚炎。

C.休薬：●皮膚剥脱(鱗屑・落屑)18%。

●刺激感14%。●紅斑13%。

D.汗疹,違和感,皮脂欠乏症,ほてり,●
乾燥7%,そう痒,皮膚炎,湿疹,蕁麻疹,間
擦疹,乾皮症,脂腺機能亢進,腫脹,ビリ
ビリ感,灼熱感,血中コレステロール↓,
血中尿素↓,口角炎,眼瞼炎,白血球↓
~↑,血小板↑,ビリルビン↑,ALT↑。

クリンダマイシン・過酸化ベンゾイル
Clindamycin Phosphate Hydrate・Benzoyl Peroxide

●デュアック(GSK)

水性ゲル10g：

クリンダマイシン(CLDM)1%

過酸化ベンゾイル3%。

[特] a.CLDMは抗アクネ菌→リパーゼ
産生抑制→皮脂中の遊離脂肪酸を低下
→白血球の遊走抑制→抗炎症作用。

過酸化ベンゾイル→1193頁

b.非炎症性皮膚疹→炎症性へを阻止。

c.炎症性皮膚疹が塗布2週で56%
12週で81%減少。

[効]尋常性ざ瘡。

適応菌種：ブドウ球菌属,アクネ菌。

[用]1日1回,洗顔後患部に適量塗布。

・12週で無効は中止

・炎症消失後は他へ変更・維持。

[禁]リンコマイシン系に過敏。

[真]アトピー性体質→重症即時型
アレルギー反応。

[注]ベピオを参照。

[併]B.慎：a.エリスロマイシン製剤で
本剤の効果減弱

b.スルホンアミド外用剤で

皮膚,顔毛に一過性の黄色~橙色変。

[副]30%]A.重大：大腸炎・出血性下痢：

限局性腸炎,潰瘍性大腸炎,抗生物質

関連大腸炎(偽膜性大腸炎を含む)。

D.下痢,腹痛,●乾燥9%。●接触皮膚炎

6%,湿疹,●皮膚剥脱5%。●紅斑5%,疼

痛,皮膚刺激,発赤,変色,そう痒,灼熱感,
蕁麻疹,ざ瘡悪化,光過敏,紅斑性皮膚疹,

錯感覚,つっぱり感,グラム陰性菌毛囊

炎,脂性肌,AST,ALT,Al-P,総ビリルビン

上昇,ウロビリノーゲン陽性,過敏症,

頭痛,白血球増,血小板増,総コレステ

ロール低下,尿蛋白,尿酸